
第一回ソーシャルプロダクツ・アワード について



▼ソーシャルプロダクツ・アワード（SPA）とは

ソーシャルプロダクツ・アワードは、ソーシャルプロダクツの普及・推進を目的に設けられた日本で初めての表彰（推奨）制度で、その目的は以下の通りです。

1. 優れたソーシャルプロダクツの情報を生活者に広く提供し、身も心も豊かなライフスタイルの実現を後押しする。
2. ソーシャルプロダクツを通して持続可能な社会づくりに取り組んでいる企業、団体を応援する。
3. ソーシャルプロダクツの普及を通じて持続可能な社会を実現する。

※「ソーシャルプロダクツ」とは、地球温暖化や生物多様性の喪失、貧困、過疎・高齢化、食の安全・安心などの社会的課題の緩和・解決につながる商品・サービスの総称。エコ（環境配慮）、オーガニック、フェアトレードや寄付つきなどの商品・サービスを含む。

▼背景

環境や貧困、高齢化や地域の活力低下、食の安全・安心問題など、様々な社会的課題が顕在化する中、その緩和や解決には、もはや特定の団体や個人のみでは足りず、多くの生活者や企業の継続的な参加と関与が必要です。

ソーシャルプロダクツは、特別なものではなく、日常の商品やサービスに社会性が加わったものであることから、多くの生活者、企業の気軽で無理のない参加により、社会的課題の緩和・解決に貢献することが可能なのです。

▼ソーシャルプロダクツ・アワードの特徴

「社会性」として、環境だけでなく人（社会的弱者）や社会（地域、伝統）への配慮も評価

環境負荷低減は今日の商品・サービス、企業の事業活動には欠くことのできない重要な要素です。ただ、原材料の調達から製造、流通、消費、廃棄にいたる商品・サービスのライフサイクルにおける影響は、環境以外の様々な人や社会にも及んでいます。例えば、製造に関わる労働者の人権や原材料の調達地の経済への影響など。近年では、そうした影響に対する配慮を商品・サービスの社会的価値として評価する生活者が増えてきています。そこで SPA では、環境配慮以外の社会性も幅広く評価します。

「社会性」のみならず、品質や機能、デザインといった「商品性」も評価

商品やサービスの社会的側面（環境や人、社会への配慮）がいかに優れていようとも、生活者はその商品・サービスの品質、機能、デザインといった「商品性」に満足できなければ、それを選択し、利用し続けてもらうことはできません。多くの生活者にソーシャルプロダクツを利用してもらう上での重要な要素として、SPA では「商品性」も評価します。

「社会性」「商品性」に加えて、商品・サービスに付随する「ストーリー・仕組み」も評価

当該商品・サービスの開発に至った背景や思い、その普及を通して実現したい社会の姿などは、商品そのものと違って、これまで十分に光が当てられる事はありませんでした。ただそれらは、生活者にしっかりと届いた時には、価値として評価されるものです。そこで SPA では、商品・サービスの持つストーリーや、目指す社会を実現するための独自の仕組みや仕掛けなども評価します。

有識者のみならず一般生活者も審査に参加

これまでアワードといえば、有識者の間だけで評価されることが多くありましたが、商品・サービスの評価においては、一般の生活者の視点も非常に重要です。SPA では有識者だけでなく、生活者の視点も評価に取り入れ、真に生活者に支持されるソーシャルプロダクツに光を当てます。

▼主催

一般社団法人 ソーシャルプロダクツ普及推進協会

▼応募期間

2012年11月13日（火）～2013年2月28日（木） ※郵送で申し込みの場合、当日消印まで有効

▼応募対象商品・サービス

1. 何らかの社会的取り組みを行っている全ての商品、サービス（食品、化粧品、アパレル、雑貨、住宅、家電、自動車、旅行、金融商品など、有形・無形を問わない）
※売上の一部又は全部を環境や復興支援を含む社会的取り組みに寄付する商品・サービスも対象
2. 社会性だけでなく商品性（機能や品質、デザインなど）も兼ね備えた、一般の生活者向けのもの（BtoC）

3. 応募時点で未発売の商品・サービスでも、2013年3月中旬ごろに実施される二次審査に実物あるいはパネル（サービス、大型商品の場合）の提示が可能な場合は応募可能

▼応募資格

応募対象商品の製造（委託製造も含む）・販売およびサービスの提供を行っている企業、団体、個人ただし、外国企業の日本法人や海外ブランド・商品の日本における正規代理店は、製造を行っていない場合でも応募が可能ですので、その場合は事務局までご相談ください。

- ※ 複数の企業や団体等による連名での応募も可能です。
- ※ 1社あたりの応募商品・サービス数の制限はありません。
- ※ 応募は、当協会の会員以外も可能です。

▼審査理念、審査方針および審査のポイント

審査理念

「よりよい未来に向けて、商品・サービスが持つ多様な価値に光を当てる」

審査方針

1. 商品・サービスが持つ価値（個人的価値＝商品性、社会的価値＝社会性）を、様々な観点のもと、「生活者の視点」で総合的に審査
2. 商品・サービスに付随するストーリーや仕組み・仕掛けも合わせて審査

審査のポイント

1. 商品性および社会性

生活者が商品・サービスを選択するにあたって重視する、機能や品質、デザインなどの「商品性」ならびに、環境や人、社会に対する配慮である「社会性」を審査します。

※一般生活者の商品購買においては、「価格」も判断材料となるので、本審査においても商品性、社会性と合わせて考慮します。

(1) 商品性 → 機能・品質、使い勝手およびデザイン

※ここでいう「デザイン」とは、物品の形状・模様・色彩などの狭義のものを指します。

(2) 社会性 → 地球環境および人・社会への配慮

これらに関しては、直接的・間接的に、以下の一部あるいは全部に配慮・貢献していることが求められます。

地球環境

- 地球温暖化への配慮
- 大気、水質および土壌汚染への配慮
- 資源の有効活用への配慮
- 生物多様性への配慮

人・社会

- 社会的弱者への配慮
- 伝統・文化の保全・発展への貢献
- 地域・コミュニティの発展への貢献

※ 配慮や貢献は、商品そのものだけでなく、原材料の調達・製造段階から利用、破棄段階までが審査の対象

※ 取引先なども含めたサプライチェーン（一部または全体）における取り組みおよび、その効果（結果）も積極的に評価

2. ストーリー・仕組み

ソーシャルプロダクツは、何らかの形で社会的課題の緩和・解決に貢献するものです。それゆえ、商品やサービスの開発にあたっては、その商品ならではの開発背景や思いがあり、さらにその先には、商品そのものやそれらが持つ仕組み等を通して実現したい社会があると考えます。SPA では、そうしたストーリーや仕組みも審査の対象として評価します。

▼審査及び審査員

一次審査（書類審査のみ）

環境や貧困、伝統・文化、地域・コミュニティ、ソーシャルプロダクツなどを専門とする有識者が、商品・サービスの「社会性」および「ストーリー・仕組み」に関する審査を応募書類に基づいて行います。この審査を通過した商品・サービスのみが二次審査に進みます。

二次審査（実物審査）

デザイナーや消費生活アドバイザー、メディア関係者などが、実物を確認しながら「商品性」に関する審査を行います。また、それとは別に、一般の生活者も審査員となり、生活者の視点から「商品性」を評価します。なお両者ともに、商品・サービスの「社会性」および「ストーリー・仕組み」の簡易的な審査も行い、全ての審査結果を合わせて、ソーシャルプロダクツ賞の受賞商品・サービスを決定します。

ソーシャルプロダクツ特別賞審査

ソーシャルプロダクツ賞の受賞者全員で大賞にふさわしい商品を選ぶ投票（自身の商品・サービスへの投票は不可）を行い、その結果と一次および二次審査の結果を参考に、別途設けられる審査委員会によって大賞以下の各賞が決められます。

※審査員については、2013年1月末までに当ホームページにて紹介

▼審査料

審査料は、以下の通りです。

一次審査料

10,500円/件（税込み）

※2012年12月28日（金）までの申し込みは無料

二次審査料

52,500 円/件 (税込み)

※ 二次審査料には、2013 年 5 月中旬に開催される展示会費も含まれます。ただし、展示会には、ソーシャルプロダクツ賞を受賞した商品・サービスのみ参加が可能です。

審査料の支払い

応募書類の提出後、事務局より審査料の支払いに関するご案内をさせていただきます。

▼アワードの種類

ソーシャルプロダクツ大賞 (SP 大賞)

全てのソーシャルプロダクツ賞の受賞対象の中で、最も優れた社会性と商品性を持つと認められるものに授与されます。

ソーシャルプロダクツ特別賞 (SP 特別賞)

SP 賞受賞商品・サービスの中から特に優れた商品が選出されます。

※一般生活者や SP 賞受賞者から高く評価されたソーシャルプロダクツに対して贈られる賞などを含みます。

※SP 特別賞は審査状況により複数選出されることがあります。

ソーシャルプロダクツ賞 (SP 賞)

応募商品・サービスの中で、優れた商品性および社会性を兼ね備えている全てのものに授与されます。

▼展示会

ソーシャルプロダクツ賞を受賞した商品・サービスの展示会を、一般の方々やメディアなどに開放して行います。(開催は 2013 年 5 月中旬)

▼参加特典

1. ソーシャルプロダクツ賞を受賞した商品・サービスは、SPA マークを使用することができ、当該商品・サービスの社会性と商品性が高いレベルで調和していることをマークを通じて広く生活者にアピールすることが可能です。

【SPA マーク使用料】

10,500 円～210,000 円/年 (税込)

※企業・団体の規模や商品・サービス価格によって使用料が異なります。詳細は事務局までお問合せください。



SPA マーク

2. ソーシャルプロダクツ賞受賞商品は、当協会の様々な広報活動（リリース、WEB、セミナー、出版等）を通じて広く発信していきます。
3. 二次の生活者審査における、商品・サービスの評価（生活者の生の声）をエントリー企業・団体に

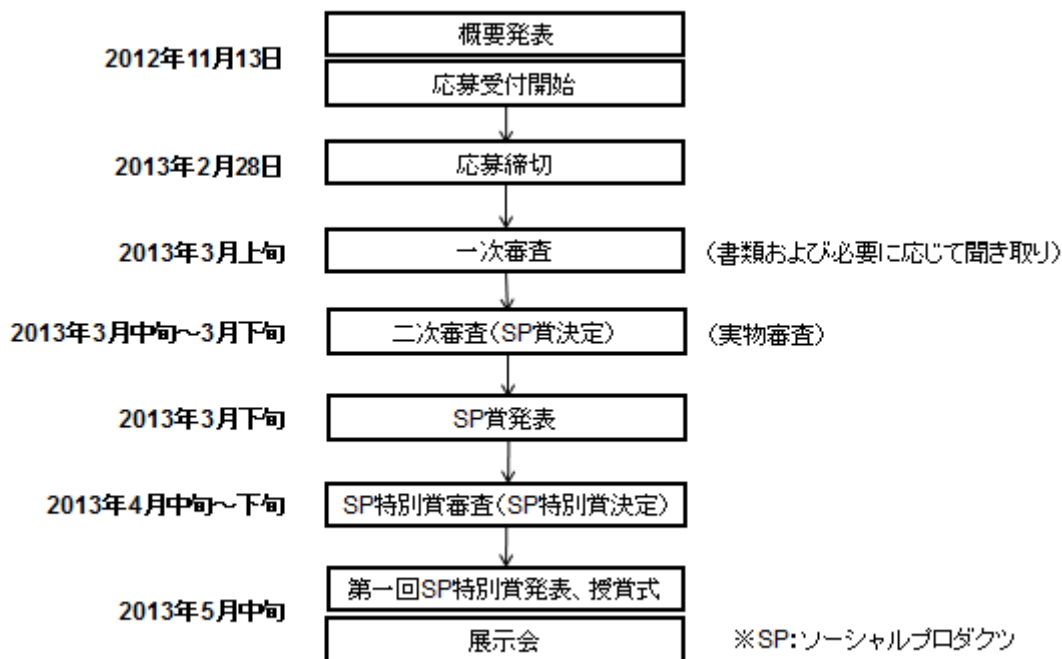
無料でフィードバックします。

※このサービス利用については条件があるため、別途事務局までお問い合わせください。

4. ソーシャルプロダクツ賞受賞商品は日本最大級のソーシャルプロダクツのECサイト SoooooS. に無審査、優遇条件で出品が可能です。

▼スケジュール

応募からソーシャルプロダクツ・アワード授賞式までのスケジュールは、以下の通りとなります。



▼応募方法

応募方法

所定の応募用紙を協会 WEB サイトからダウンロードし、必要事項をご記入の上、応募商品・サービスに関する添付資料と共に郵便またはメールにて事務局宛に送付してください（メールにて送付いただく場合は、パスワードの使用を推奨）。

※添付資料

1. 商品の場合は、その写真（WEB 上で全体像の十分な確認が出来る場合は不要）
2. FSC や MSC、JAS など、環境配慮やオーガニック、フェアトレードなどに関する、何かしらの認証を受けている場合は、その認証の写し
3. 寄付つき商品の場合は、寄付をした団体への寄付を証明するものの写しあるいは寄付をする取り交わし・契約を証明するものの写し
4. サプライチェーンの中で協力会社等と環境や人権などへの配慮に関する取り決めや確認を行っている場合、その内容が分かるもの

5. その他、商品やサービスに関する資料

上記の資料は必須ではありませんが、信頼性という観点から可能な限り添付ください。(信頼性も評価に影響します)。なお、応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。

▼応募用紙

当協会ホームページにあります下記「事業紹介」ページより、応募用紙をダウンロードして下さい。
<http://apsp.or.jp/introduction.html>

▼応募用紙の受領確認

応募用紙の受領後、メールにて受領確認をお送りします。応募後、1週間経っても受領確認のメールが届かない場合は、お手数ですが、事務局 アワード係までお知らせください。

電話 : 03-3248-5755

email : info@apsp.or.jp

▼応募書類、情報等の取扱い、およびその使用について

1. 応募に際してご記入、ご提出いただいた企業や個人、商品やサービスに関する情報、添付書類は、事務局にて厳正に管理、保管させていただきます。
2. ご提出いただいた情報や添付書類は、ソーシャルプロダクツ・アワード事業および当協会の事業活動に必要な範囲内で、主催者および関係者が使用します。応募に際しては、その点を予めご了承ください。

※ 発売前商品等で守秘義務契約の締結等が必要な場合は、事務局にご相談下さい。

※ 個人情報保護方針は、以下の URL をご参照ください。
<http://www.apsp.or.jp/policy.html>

▼応募にあたっての留意事項

応募者の責任に帰する事項

応募商品・サービスにおいて、著作権や意匠権など、他社や他人の権利の侵害等が問題になった場合、責任は応募者にあるものとし、主催者は一切の責任を負いません。

応募の取り消し

応募者の責に帰す事由で、応募を取り消す場合、お支払いいただいた審査料等の返金は一切出来ません。予めご了承ください。

表彰の取り消し

以下のことが行われたり、明らかになったりした場合、主催者は表彰を取り消すことができます。

- ・応募内容に関する虚偽記載
- ・著作権や意匠権など、他社や他人の権利侵害
- ・その他主催者がふさわしくないと判断する行為

なお、上記のことが発覚した場合、審査料の返金を行わないことを予めご了承ください。

審査内容に関する問い合わせ

主催者および審査員は、受賞に至らなかった商品・サービスを含め、個別の審査内容に関する問い合わせには一切応じられませんので、予めご了承ください。

▼お問い合わせ、応募申込用紙・添付書類送付先

一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会

事務局 ソーシャルプロダクツ・アワード係まで

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目12-5 白鶴ビル3階

電話：03-3248-5755（担当：赤熊）

email：info@apsp.or.jp